

「JENESYS2.0」

北京社会管理職業学院日中交流代表团

訪問日程 平成 29 年 1 月 17 日（火）～1 月 24 日（火）

1 プログラム概要

北京社会管理職業学院が派遣した、北京社会管理職業学院日中交流代表团（団長：王 偉（オウ・イ）北京社会管理職業学院 高齢者福祉学院 院長補佐）計 27 名が、1 月 17 日から 1 月 24 日までの 7 泊 8 日の日程で来日しました。

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、代表团は東京・大阪・京都を訪問し、厚生労働省、福祉専門学校・大学、介護・福祉の現場への訪問や関係者との交流を通じて日本の介護福祉分野への理解と関係者との親睦を深めました。また、歴史的建造物の見学、日本文化体験などを通して「クールジャパン」に直接触れ、日本に対する包括的な理解を深めました。

2 日程**1 月 17 日（火）**

- ・羽田空港より入国
- ・浅草寺・仲見世見学
- ・オリエンテーション

1 月 18 日（水）

- ・厚生労働省ブリーフ
- ・江戸東京博物館見学
- ・東京タワー見学
- ・歓迎会

1 月 19 日（木）

- ・東京福祉専門学校訪問・交流
- ・皇居・二重橋見学
- ・大阪府へ移動

1 月 20 日（金）

- ・桃山学院大学訪問・交流
- ・社会福祉法人悠人会複合型福祉施設ベルタウン訪問

1 月 21 日（土）

- ・ATC エイジレスセンター視察
- ・金閣寺見学
- ・和風旅館宿泊 日本文化体験

1 月 22 日（日）

- ・京友禅体験
- ・東京都へ移動
- ・商業施設視察

1 月 23 日（月）

- ・社会福祉法人福栄会訪問
- ・日本科学未来館見学
- ・浜離宮恩賜庭園見学
- ・歓送報告会

1 月 24 日（火）

- ・羽田空港より帰国

3 写真

	
1月18日 厚生労働省訪問 (東京都)	1月18日 江戸東京博物館見学 (東京都)
	
1月19日 東京福祉専門学校訪問・交流 (東京都)	1月20日 桃山学院大学訪問・交流 (大阪府)
	
1月20日 社会福祉法人悠人会複合型福祉施設 ベルタウン訪問 (大阪府)	1月21日 ATC エイジレスセンター視察 (大阪府)

	
1月22日 京友禅体験 (京都府)	1月23日 社会福祉法人福栄会訪問 (東京都)
	
1月23日 日本科学未来館見学 (東京都)	1月23日 歓送報告会 (東京都)

4 参加者の感想（抜粋）

○日本側の細かく行き届いた段取りのおかげで、教師、学生とも多くのことを学び、得るものが沢山あったことに感謝している。初めての訪日ではあったが、実際には、その前から日本については少なからず理解していた。このたび日本を訪問し、日本に対する印象が更に詳細になり、深くなった。謙虚で、礼儀正しく、仕事に使命感を持ち、価値観がとても強い。サービスの質が高く、安全で、自由な、独自の魅力を擁する国であるということだ。

○ずっと日本に来たいと思っていた。きれいで清潔、高品質なサービス。実際に日本に来てみると、その評判は本当なのだと分かった。全体的に暮らしやすく、生活の質が高く、また日本人はプロ意識が高く、皆がスペシャリストで、根気強い。これは日本の最も重要な「人材」なのだと感じた。

国情の違いもあり、日本には優れている面が多いといえ、そこから学ぶことは容易ではない。今回の活動に対しご支援いただいた日本側の方々には、感謝している。これからの高齢者介護事業のために、新たな認識や視野を得ることができた。

若者はどこもみな同じで、直面する困難や問題はとてもよく似ている。若者がともに成長し、ともに進歩していけるよう、世界は若者にチャンスを与える必要がある。

両国の事業が友好的に発展し続け、中日の青年交流がますます盛んになることを願っている。

○まず、貴国とイオンコンパス株式会社の手厚いもてなしと3名の事務局が私たちの訪日期间中ずっと気にかけて同行してくださったことに感謝している。

私は今回、日本で学習と交流の機会を得られたことをとても有難く思っている。このたびの訪問で、専門知識の面で視野を広げることができただけでなく、日本の文化や環境、科学技術、国民の資質について驚き感心した。日本の大通りにはごみ箱が置かれていないのに、ごみ箱がある所よりも清潔であり、部屋はそれほど広くないが、大きな家より合理的で温かみがある。部屋、車、道路など何もかもが新品のように清潔である。さらに日本人は親切で気遣いが細やかで、自分の仕事に対し一生懸命責任を果たし、私たちへの配慮も至れり尽くせりであった。

今回の滞在期間中、厚生労働省、東京福祉専門学校、桃山学院大学、社会福祉法人悠人会、社会福祉法人福栄会を訪問し、福祉関連の専門知識を多く得ることができたが、私が一番感慨深かったのは「微笑み」である。微笑みは人への友好、尊重の表れだが、見知らぬ人でも笑顔で応じてくれた。私が町で道に迷ったとき、私は地図を持っていて、方向に迷いながらも人に道を尋ねるのが恥ずかしかったのだが、そのとき通りかかった人が近づいてきて、私に道案内をしてくれたのだ。このように特別に親切にしてもらった記憶は深く心に残った。私はこの友好と尊敬の気持ちを、帰国後周りの人々に伝え、身近にいる一人ひとりに広めていけるよう、私自身から始めようと思う。

○1. 専門分野について：私は高齢社会学を専攻しており、とりわけバリアフリー施設に対し興味を持っている。このたびの活動を通じて、まず文化的な面で深い印象を受けた。人に優しく、家庭のような場を作ることが施設の出発点であり目標でもあり、その次が科学技術なのだというのを、とても深く感じた。また、中国ではまだまだ展示レベルのハイテクが、日本ではすでに随所で実用化されていて、私は日本の高齢者福祉サービスの素晴らしさを実感した。もともと日本の高齢者福祉がよく発展していることをいつも取り上げていたが、今回日本に来て、文化、科学技術、施設はもちろん、実際に心から日本の高齢者福祉事業が素晴らしい発展をしていると感じた。

2. 青少年交流において、日本人の親切さと礼儀の文化を感じることができた。両国の教育の違いはあるかもしれないが、交流に少しも影響することはなく、お互いに相手の国に対して理解を深めることができた。

○1. 厚生労働省への訪問では、長期介護保険及び介護保険関連制度について理解し、日本が高齢化傾向にある理由として、介護期間の長期化と、核家族が比較的多いという背景を知った。日本の介護人材の育成と保護政策、および離職率、総合的な介護人材の確保措置について深く考えさせられる機会となった。

2. 東京福祉専門学校への訪問では、まず創立29年であり、日本が少子高齢化に突入していること、次に同校での人材養成の歩みについて学んだ。その後、校内の高齢者福祉関連の教室、介護実習室、高齢者ラウンジなどを見学した。この学校の学生はとても活気にあふれ朗らかで笑顔を浮かべているのが印象的で、とりわけ道德面において、挨拶を重んじていると感じた。また、PCP教育システムについても学んだ。

3. 桃山学院大学への訪問では、介護士の勉強をしている学生たちと友達になった。名刺交換をして楽しく過ごし、彼ら的高齢者に対する思いやりを感じることもできた。

4. BELL TOWN、福栄会への訪問では、多くの先進的な介護施設を見学し、施設内の高齢者の自己実現の機会を提供している様子を見学した。この数日間の学習の中で、自分の視野を広め、専門知識を高めることができた。総じて、今回の学習交流活動は実に充実したものであった。